



秋田県五城目町役場編集部
発行所印 (代能印)



印

昭和37年8月20日

(月曜日)

新らしい稲作りのはじまり

直まき栽培展示園

◆田植えのいらない稲作◆

の生育状況は草丈が普通栽培の確立も充て期待できる。とす

から始まる。このため今までの留譲であった。生産年齢の範囲は、たとえば20歳~60歳前後で、いつと

か農家もいかにして播種を作るのかといふことが耕作技術を高める方法のうちでもかなり重要な要素である。

最近になって稻の直まき栽培が急に脚光を浴びてきている。例えば、それが最もよい例といえよう。

はその最もよい例といえよう。最も重要な要素は、直まき栽培が急に脚光を浴びてきている。例えば、それが最もよい例といえよう。

が急に脚光を浴びてきている。例えば、それが最もよい例といえよう。

やめられた革新的可能性をもつてゐる。

困難な場合は免除申請を

困難な場合は免除申請を

ご利用ください

心配など相談所を



展示撮影 (8月11日午後)

急施臨時議会終る

災害工事費の追加などを可決

議会は急施臨時会として開催され、次回の議案、陳述などが審議された。

さる八月八日招集された町議会の急施臨時会は、会期を金曜日とし開会式を行った。

町は本年四アール(四畝)を設け、その上といった所である。現在

所、全般的には後の下、又は良

いが如きのものである。

しかし苗作り、田植えの省略と

問題もある。これらの問題が解

決しない限り急速な普及は困難

である。

しかし苗作り、田植えの省略と

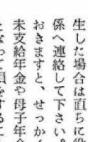
問題もある。これらの問題が解

決しない限り急速な普及は困難

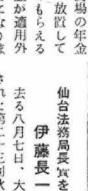
である。

しかし苗作り、田植えの省略と

問題もある。これらの問題が解



伊藤長一郎氏



佐藤謙三氏



佐藤謙三氏

心配など相談所を

